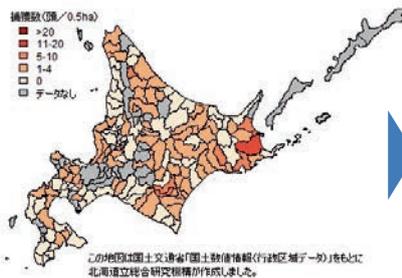


エゾヤチネズミによる造林木被害の軽減に向けた取組を行っています

野ネズミ被害軽減に向けた取り組み

課題名(研究期間) 野ネズミ発生予想の精度向上と再造林時に発生する枝条が野ネズミ被害に与える影響の解明(2021~2023年度)
自動リセット式トラップを用いた新たな野ネズミ防除技術の開発(2024~2026年度)

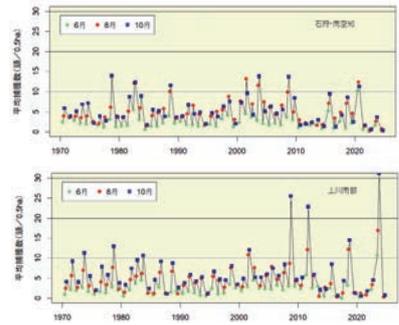
◆エゾヤチネズミ発生予想の改善



エゾヤチネズミの捕獲状況



新たに変更された地域区分



各地域における平均捕獲数の推移

◆野ネズミ発生予察調査の精度向上



予察調査で捕獲された野ネズミ



ミカドネズミ(左)とエゾヤチネズミ(右)の見分け方を解説

◆新たな防除方法の検討



殺そ剤



殺そ剤を用いない新たな防除方法として自動リセット式トラップによる捕殺効果を検証

成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> エゾヤチネズミ発生予想の精度向上のため、増減パターンの類似性をもとに地域区分を変更し、予測式の改善を行いました。 予察調査において誤認された種の事例を分析するとともに、研修等を通じて種の見分け方を解説しました。
成果の活用	<ul style="list-style-type: none"> 林業試験場のホームページにおいて、エゾヤチネズミ発生情報を公開しています。 https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/database/nezumi.html 各種研修などの機会を活用し、野ネズミの見分け方や被害軽減策についての普及啓発に取り組んでいます。
成果の公表	<ul style="list-style-type: none"> 明石信廣・雲野明・中田圭亮(2022) 野ネズミ発生予察調査によるエゾヤチネズミ捕獲数、積雪および殺そ剤散布と植栽木被害の関係。日本森林学会誌.104(4) 南野一博(2022) 「野ねずみ発生予察調査」における誤認事例と見分け方。光珠内季報.205 南野一博(2024) 「野ねずみ発生予察調査」で捕獲された野ネズミの誤認の特徴とエゾヤチネズミとミカドネズミの見分け方。山つくり.529
研究担当	林業試験場 保護種苗部保護グループ
連携機関	北海道水産林務部林務局森林整備課、北空知森林組合
特記事項	
備考	